

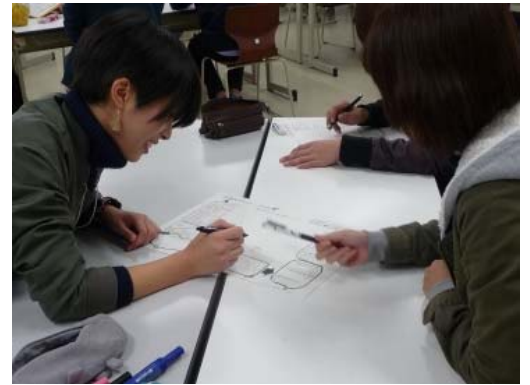
後学期教養科目『カタリバでキャリアを拓く』

カタリバ特別授業を小倉南高校で開催しました。

平成 27 年度の後学期教養科目「カタリバでキャリアを拓く¹」（水曜 2 限、本学経済学部 教授 宮町良広、特任教授 佐藤裕哲、今村亮氏（「認定 NPO 法人カタリバ²」（以下、カタリバ）統括ディレクター）を招聘。）が、開講されました。受講生は必死に高校生と向き合うための手法を OB・OG の手助けを借り、悪戦苦闘しながら学んでいます。

今年度は「一般社団法人ピープラス福岡カタリバ事業部」（以下、福岡カタリバ）が設立（2015 年 4 月）され、本学カタリバも県外の高校生とタイアップしようと、福岡県立小倉南高校で特別授業“福岡カタリバ×大分大学「カタリ場³”が実施されました。

カタリ場とは、主に高校生の将来への可能性を引き出し、将来への行動へと動機づけることを目的としたキャリア学習プログラムです。授業を行うのは、本学学生と福岡県内の大学生です。利害関係のある“親”でも“先生”でもない、“友達”でもない、すこし年上の“先輩”だからこそ、将来への期待感を刺激し高校生達の本音を引き出す対話の場を作ることができます。受講生は、授業では「**ナナメの関係で高校生の心に火をつける**」ことを目標に、高校生に親近感と憧れを抱かれる存在になるための学習や対話力の向上に時間をかけました。生徒の話を引き出し聞くための「先輩役」、自分の体験を基に高校生に語りかける「サンプリング者」、授業の流れを



考え、当日の運営を司る「プロジェクトマネージャー（PM）」や「コアスタッフ」などの役割について学習し、ワークショップで「話すこと」「聞くこと」「理解すること」などの方法について、事前に高校生へのアンケートをもとに授業計画を組み立てます。

学習の成果を発揮する時が来ました。12 月 12 日（土）8 時 30 分、小倉南高校の控室で福岡カタリバのみなさん 50 名と初めて出会い、「む・き・あ・う」をテーマに特別授業の事前準備を行いました。同じ目的を持つ学生達は、旧知の間柄のようにすぐ打ち解け授業の最終確認をすませ、2 年生 229 名を柔剣道場で待ちます。拍手で迎えます。PM が、特別授業の開始を宣言しました。まず、シートを活用し生徒の気持ちを引き出します。「サンプリング者」7 名は、高校生活・部活動・家族友人関係・進路選択・大学生活など、ドラマではない自分の挫折や葛藤などを振り返り、自分の体験を語りかけました。高校生は真剣な眼差しで聞き入り、目に涙を浮かべる場面もありました。高校生の眼の輝きがみるみるうちに変化し表情も真剣になり、身を乗り出して大学生に真正面から飛び込もうとしている高校生を大学生達も必死に受け止めていました。最後に、高校生は本日から取り組もうとする“約束”をカードに書き込みました。PM は、「約束カードに書いた決意は、みなさんの道しるべとして折に触れて見てください。そして、今日の特別授業を思い出してください。私達は高校生の皆さんと寄り添っていきます。」と語りかけました。高校生の澄んだ目が印象的でした。授業後、大学生も自分自身を見つめる機会になっていることに気づいています。小倉南高校の先生方も「はじめは疑心暗鬼でした。日頃見せない生徒のようすが新鮮で、生徒達から“今までの進路学習で一番よかった”と言われ、キャリア形成の方法は多様であることを改めて知ることができました。」と、よろこんでいただきました。2 月 18・19 日は、大分商業高校で開催します。



¹ 平成 25 年度に開講しました。

² 「認定 NPO 法人カタリバ」については、<http://www.katariba.net/>を参照してください。

³ 「カタリ場：カタリバが実施する、キャリア総合学習の呼称。本書では団体・組織名を「カタリバ」、高校生向けプログラム名を「カタリ場」として使い分けている。」（上阪 徹(2010)『「カタリバ」という授業』 英治出版 p. 16)。